

20m09H発表記録

学習をめぐる3つの理論



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習と発達に関する理論)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (学習は発達と関連, 学習とは...)

- ・ 進歩説: 外的刺激と外的反応の間に新しい学習過程
- ・ 認知説: 主体が外的環境を捉え入れた際の認知構造の変化
- ・ 状況理論: 集団に対する個人の役割の仕組化
- ・ 発達論: 認知構造の段階的・量的変化

■肯定的 web (新説体系における学習の概要
まとめ (旧来的な学習観と混ざって))

- ・ 行力主義 = 進歩説
- ・ テキストの多くは行力主義寄り
- ・ 認知心理学とは別物 → 対立
- ・ 伝統と現在をどのようにしてまとめるかが重要

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

- 教科書の内容のインパクトが少し不足、思い出すのに時間がかかった。教科書と違って難しさを感じてしまった。

■否定的 web (従来の学習観にたいして ... の考え方)
まとめ (多様性は個人に委ねるべき)

- ・ 発達: 「個人」が時間経過に伴って身体的・精神的機能を変えていく過程
- ・ プロセスは人それぞれ
- ・ 進歩的・量的と非進歩的・質的の革新の 2 つによって発達が促進

■班としての要約

まとめ (時代に合った定義を!)

- ・ 「学習」に対する明確な定義がない
→ テキストでバラバラ
- ・ そのため「学習」と混同している
- ・ 教育現場での実用性を求めている
→ 根本は無し?

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・ 学習	・ 外的環境	・ 発達	・ 3つの理論
・ 進歩説	・ 認知と構造	・ 認知構造の地	
・ 外的刺激	・ 状況理論	・ 経験的	
・ 外的反応	・ 集団	・ 質的	
・ 認知説	・ 個人の役割の仕	・ プロセスは人それぞれ	

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

- 流派は色々あるため、明確な答えはなかった。受動的に捉えた自分なりの定義・考えを持つことが重要だと思った。

学習理論に基づく学習方法



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習理論に基づく) 学習方法

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

- ・プログラム学習
- ・ ↳ スキナーによって提唱された
- ・ ↳ どのような内容の学習に対して有効性ともつか、限界はみられるかなどが着目点である。
- ・ 発見学習
 - ↳ ブルーナーによって提唱された
 - ↳ 学習者が現象を説明できるような科学的説明と主体的に見出していくことを重視
 - ↳ 仮説実験授業などを中心に開発が進められる
- ・ 意味受容学習
 - ↳ オズベルによって提唱された
 - ↳ 学習者が十分な知識とたない場合等に効果アリ

■肯定的 web (先行オーガナイザー)

まとめ ()

- ・読解活動や聴解活動の際に
- ・行われる、本文のテーマに関する知識
- ・を活性化させること。
- ・学習を促進するためには、いきなり本文に入るのではなく、そのテーマに関する認知構造を読解活動前には活性化させておくことが、きわめて有効である

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

話を上手く

まとめることができなかった

■否定的 web (仮説実験授業のメリットデメリット)

まとめ ()

- ・メリット
- ・ ↳ 仮説と検証の探求的態度や情報と組織化する知的能力を育成することができる

・デメリット

↳ 時間や労力がかかってしまい、耐性の低い生徒には向かず、暗記物には適さない学習法である。

■班としての要約

まとめ ()

- ・意味受容学習は、
- ・その学習が苦手な学習者にとって苦行では...?

・プログラム学習は、全ての原理を使うことができなくても活用すべきだ。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- | | | | |
|----------|--------|----------|---|
| ・学習 | ・スキナー | ・先行 | ・ |
| ・プログラム学習 | ・ブルーナー | ・オーガナイザー | ・ |
| ・発見学習 | ・オズベル | ・ | ・ |
| ・意味受容 | ・仮説実験 | ・ | ・ |
| ・学習 | ・授業 | ・ | ・ |

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

公文がプログラム学習だったとは知らなかった..

学習における他者の役割



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習における他者の役割)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

ニ ヴァグツキーいわく

個人の発達 は 社会的に共有された
認知過程を内化する事によって生起する

内化とは ←

外的な操作を内的に再構成すること

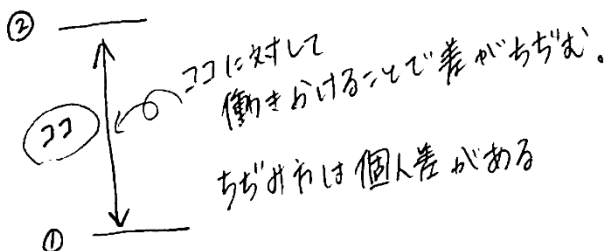
■肯定的 web ()

まとめ ()

・最近発達領域とは

・子どもが独力で解決できる水準^①と

・大人などの年長者の援助や優れた仲間との
協同で解決できる水準^②との差



2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ 学習について教師は自分の意見をもち、
どのように最近発達領域に働きかければ良いかを考えなければならぬと感じた。

■ 5段階班の自己評価 (

5)

■否定的 web ()

まとめ ()

・最近発達領域はどのように創造されるのか

・池田 光穂 いわく

遊びの中で創造される

子どもは遊んでいるときはいつも自分自身よりも上位にいると考えていた。

■班としての要約

まとめ ()

・“遊ぶ時間” というのは 授業内 では

とることができないので、

貴重な遊ぶ時間を止めず、ある程度は
一人でやらせることが大切かもしれない

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 自分にあった方法も見つけていきたい。
意見と方法が合ったものを見つけて、
子どもに合った方法、どちらも大切だと感じた。

ICT活用例



各班ワークシート (模擬授業まとめ)

改善したこと、すべきことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICT活用例)

■ 学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

音楽 (ソフトウェア)

■ 目標・内容・指導の概略等

- ・ サウンドスペクトログラムによる音の可視化
- ・ リズムカードを並び替える
→ PCで音を正確なまま
・ グループごとに、分けられた見聞曲の音源を聞きながら、正しいリズムを考え、音源を並び替える
- 音楽表現が工夫できるようになる

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ PCと紙の両方のものを組み合わせたのはおもしろいなと思いました。

2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

■ ICTは適切に活用できれば効果的に

■ 教材・板書計画、評価の観点・規準等

- ・ サウンドスペクトログラム
- ・ PC
- ・ タブレット

■ 工夫した点、出典等

- ・ 文部科学省「ICT活用例」
- ・ コトバンク「サウンドスペクトログラムとは」

■ 模擬授業を実践してみて感じたこと、わかったこと

ソフトウェアを使うのはやはりちゃんと機械を扱える人ではないと難しいのではないかと感じました。

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ ICTをうまく使うことができるのか、そして使えたとしてどういう場面を使うのかが大事になってくると思いました。

ICT活用例



各班ワークシート (模擬授業まとめ)

改善したこと、すべきことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (筋肉の動き)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

保健、体育

単元: 体の作り

本時の内容: 筋肉について学ぶ

■目標、内容・指導の概略等

目標: 日常の動きとどのような筋肉が使われているかを学ぶ

内容: どのようなトレーニングをしたときにこの筋肉が鍛えられるかを理解する。
歩くが座るといった日常的な行為ではどのような筋肉が使われているかを理解する。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ 自分が企画した ICT 活用は教育用としてより、ジムに通う人たちが受けたためたなるようなもので、もう少し教育に関連付けたいと考えた。

2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

■ 生徒それぞれに適した学習方法があり、どの学習方法が正解という訳ではないので、様々な学習方法を知っておくこと。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

教材: 9月16日以内にある筋肉について学習するアプリ。

板書計画: なし

評価の観点

→ 筋肉の動きについて知識的に理解するだけでなく、実際に体を動かして理解しているかを評価する。

■工夫した点、出典等

知識的に学ぶだけでなく、実際に体を動かして学ぶこと。

■模擬授業を実践してみて感じたこと、わかったこと

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ ICT 活用の室がなくなっているものがあるが、教育内容が学校で行うものより学校外で使った方がいろいろなものになっているので、もう少し生徒たちの学びになるものも考えていきたい。

確認問題08



各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ
各問のポイント

■問 1

アヒンガライオンとしての時間.

→ 一方向性.

均質性.

細切れの分析.

■問 2

生活感と反映

実践記録: 文芸性をもつ

(強調と省略 →
文芸性.)

: 共通の価値 →

共有財産となるのを

目指す.

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと
思ったことをのべよ。

■ 授業をつくるうえでの 記録評価と
そこから得る、授業のラ「サイン」や「イベント」.

2*) 問題全体を通して見て、気づいたことをのべ
よ。

■ 実践記録を共有財産とするとして、
そこには生活感を含めるとよ /
生活に資料と成りえるようにする。

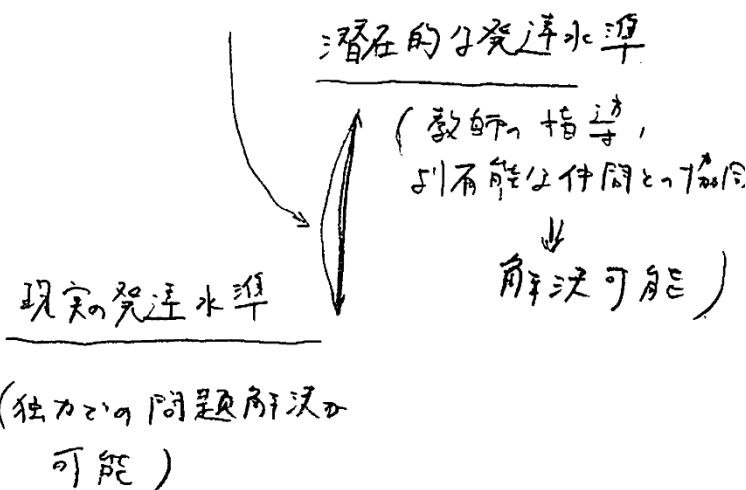
■問 3

全員参加の 5 原則)

- ・「まじり」の反応をとらえる.
- ・空白の時間を作る.
- ・待つ
- ・教室全体を見る.
- ・学習形態と工夫する.

■問 4

最近接発達領域



2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り組む時間や、問題内容と発表班との関係などについて、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■

最近接発達領域 について、

この領域を ではあるには

授業内・外での 学びの 平等。効果的だと感じた。